

技術士 2 次試験に合格して



川村 茂

(かわむら しげる)

勤務先

北海道札幌工業高等学校

土木科

〒060-0820 札幌市北区北 20 条西 13 丁目

TEL 011-727-3341 FAX 011-727-3344

E-mail shige-kawa@hokkaido-c.ed.jp

■ 専門：建設部門(都市及び地方計画)

1. 自己紹介

私は普段、専門高校の教諭として測量や社会基盤工学(土木工学概論の様な教科)の授業をしています。また課題研究(大学の卒業研究のような授業)で、技術者のミライ研究委員会の方々や青年技術士交流委員会の協力を頂いて生徒と一緒に広場の整備改善を行ったり、企業の方に協力を頂いて今後の河川環境の在り方を考える研究をしたりしています。

2. 受験の動機

大学生の頃、技術士に合格した OB 方の講話を大学が機会を設けてくれて、そのとき初めて技術士という資格があることを知りました。

技術士は理系で最高峰の資格であり、専門的な知識や実務的な应用能力を有す技術者であることを証明する資格ということに魅力を感じました。

また、その先輩の話が分かりやすく、技術士を取れば食いつぶれなしとの話も周囲の方々から聞いたので興味を持っていました。

教職に就き、本物のものづくり教育を行うには他の団体や会社の方々との連携は欠かせないと感じたので、技術士の人たちと繋がりが得られる技術士会に入会するのが一番だと思い、1 次試験を受験することにしました。

3. 技術士試験について

(1) 1 次試験

当時、学校で公務員試験の指導をしたり、私自身も土木学会認定土木技術者である 2 級土木技術者の勉強をして、資格を取得していたことも効果があったのか 1 次試験は 1 回でパスすることができました。技術士になるための足掛かりを築くことができたととても嬉しかったことを覚えています。

この後、二次試験に合格するのに大変な苦勞が待っていることも知らないまま。。。

(2) 2 次試験

1 次試験に合格して青年技術士交流委員会に参加させていただいていました。青技交に参加していると皆さんが技術士なので、自分も技術士になりたい思いが強くなり、2 次試験の受験を決めました。

とはいっても何から手を付ければ良いかわからず、仕事が忙しいことも十分な言い訳となり 4 年間は大した勉強もせずに受験していました。

職場に技術士の先輩がいて、本当に合格したいなら講座を紹介すると言ってくれたので技術士養成講座に参加することにしました。

講座を紹介してくれた先輩の顔に泥を塗るわけにはいかないという一心で、国の基準やガイドラインを確認するなど自分が計画したことに対し、必死に取り組みました。講座の講師の方々の心温まるアドバイスもあり、きちんと取り組んでから 3 年で筆記試験に合格出来ました。

(3) 口頭試問

筆記試験に合格し、口頭試問までの限られた時間を最大限に使って対策したのですが不合格となり涙を飲みました。もう受験しないと何度か考えましたが、講師の励ましと家族の支えもあって時間はかかってしまいましたが、きちんと取り組んで 7 年目で合格までたどり着くことができました。

日々の教育活動にご理解・ご協力を頂いている方々の協力もなければここまでこれませんでした。本当に皆様に感謝しています。

4. 今後の抱負

新たなスタートラインに立てたと思っています。どのような技術者を育て、自分も技術者として世の中に貢献していくか、時流を見極めながら取り組んで参りたいと思っております。日々ご協力頂いている皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。